北山クラシック倶楽部2019　ウィーンとベルリンの首席奏者が集う、世界最高峰の木管五重奏

23rd AUTUMN KYOTO MUSIC FESTIVAL
京都の秋音楽祭

京都コンサートホール KYOTO CONCERT HALL

# ENSEMBLE WIEN-BERLIN

カール＝ハインツ・シュッツ（フルート）**ウィーン・フィル首席**

ジョナサン・ケリー（オーボエ）**ベルリン・フィル首席**

© Katja Ruge / Decca

アンドレアス・オッテンザマー（クラリネット）**ベルリン・フィル首席**

## アンサンブル・ウィーン＝ベルリン

**ENSEMBLE WIEN-BERLIN**

Karl-Heinz Schütz, flute / Jonathan Kelly, oboe/ Andreas Ottensamer, clarinet
Richard Galler, fagotto / Stefan Dohr, horn

リヒャルト・ガラー（ファゴット）**ウィーン響首席**

**モーツァルト：オペラ「コジ・ファン・トゥッテ」より**
Mozart: excerpts from "Cosi fan tutte"

**クルークハルト：木管五重奏曲 op.79**
Klughardt: Woodwind Quintet op. 79

**イベール：3つの小品**
Ibert: 3 pieces for Woodwind Quintet

**モーツァルト：五重奏曲ハ短調**
**（セレナード第12番K.388と五重奏曲K.406より）（レヒトマン編）**
Mozart: Quintet c minor from Serenade K.388 and K.406
(arr. M. Rechtmann)

百花繚乱

©Simon Pauly

シュテファン・ドール（ホルン）**ベルリン・フィル首席**

© 青柳聡

2019
**10.2**（水）19:00開演（18:30開場）

**京都コンサートホール**
アンサンブルホールムラタ

**全席指定：一般 ¥6,000／学生 ¥3,000／会員* ¥5,500**

| 会員先行：5/25（土）10:00～ | 一般発売：6/1（土）10:00～ |
|---|---|

＊京都コンサートホール・ロームシアター京都Club（会費1,000円）と京響友の会の会員が対象。

主催：ヒラサ・オフィス
共催：京都市・京都コンサートホール（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）
後援：村田機械株式会社

＊未就学児の入場はご遠慮ください。＊都合により出演者・曲目等が変更になる場合がございますので、予めご了承ください。＊学生券で入場される際は、証明証のご提示をお願いする場合がございます。

●チケットのご予約・お問い合わせ
**京都コンサートホール　075-711-3231**
［10:00～17:00／第1・第3月曜休（休日の場合は翌平日）］

●24時間いつでも！
**オンラインチケット購入**　京都コンサートホール　検索

●プレイガイド
e+（イープラス）　http://eplus.jp（PC・携帯・スマートフォン）
ロームシアター京都　075-746-3201（10:00～19:00／年中無休　＊臨時休館日を除く）

# ENSEMBLE WIEN-BERLIN

Karl-Heinz Schütz, flute / Jonathan Kelly, oboe/ Andreas Ottensamer, clarinet / Richard Galler, fagotto / Stefan Dohr, horn

1983年にウィーンとベルリンから集う桁外れのソリスト5人、シュルツ（Fl. ウィーン・フィル）、シェレンベルガー（Ob. ベルリン・フィル）、ライスター（Cl. ベルリン・フィル）、トルコヴィッチ（Fg. ウィーン響）、ヘーグナー（Hr. ウィーン・フィル）によって設立され、「スーパーアンサンブルの誕生」と熱狂的な喝采をもって世界中の音楽界から迎えられた。以来、メンバーを徐々に変更しながら活動を続けてきたが、2013年に30周年を迎えたのを機に、ザルツブルク音楽祭、ウィーン、ベルリンでの演奏をもって、最後の創立メンバーであったシェレンベルガーが引退。完全に若返る形で、新生アンサンブル・ウィーン＝ベルリンとして新たな船出をした。
新生アンサンブル・ウィーン＝ベルリンとしては、2015年7月、2017年9月～10月に日本ツアーを行い、いずれも大成功を収めた。新しい感性と卓越したテクニックで、これまでにない更なるレパートリーの拡大にも力を注ぎ、木管五重奏の新境地を開拓している。

## カール＝ハインツ・シュッツ（フルート） ウィーン・フィル首席
Karl-Heinz Schütz, flute

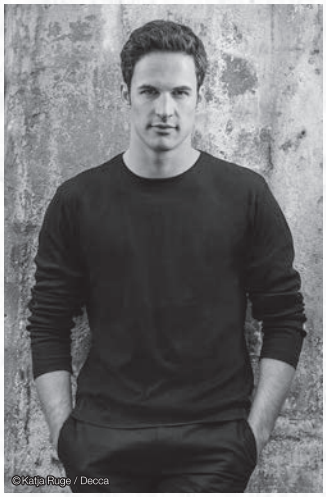
©T.Tairadate

オーストリア生まれ。オーレル・ニコレ等に師事。カール・ニールセン国際フルート・コンクール等で優勝。ウィーン交響楽団首席フルート奏者等を歴任。客演奏者としてバイロイト祝祭管弦楽団等に客演。ソリストとしても様々なオーケストラと共演、好評を博す。またウィーン・リング・アンサンブルや、アンサンブル・ウィーン＝ベルリンのメンバーとしても活躍。ウィーン国立歌劇場管弦楽団の首席ソロ・フルート奏者、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団ソロ・フルート奏者。ウィーン・コンセルヴァトリウム音楽大学のフルート科教授。

## ジョナサン・ケリー（オーボエ） ベルリン・フィル首席
Jonathan Kelly, oboe

イギリス生まれ。ケンブリッジ大学で歴史学を学び、ロンドンの王立音楽アカデミーとパリ国立高等音楽院でオーボエを学ぶ。バーミンガム市交響楽団首席オーボエ奏者を10年間務めた後、2003年、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団首席オーボエ奏者に就任、また、ソリストとして定期的にベルリン・バロック・ゾリステンと共演を続け、CDの録音も積極的に行っている。また、シャルーン・アンサンブル・ベルリンとも頻繁に共演、ツェルマット音楽祭では、演奏者としてだけでなく、講師として教育活動にも参加をしている。

## アンドレアス・オッテンザマー（クラリネット） ベルリン・フィル首席
Andreas Ottensamer, clarinet


©Katja Ruge / Decca

1989年、オーストリア・ハンガリー系の音楽一家に生まれる。ウィーン国立歌劇場管弦楽団、ウィーン・フィル、グスタフ・マーラー・ユーゲント・オーケストラで、オーケストラ奏者としてのキャリアを開始。2009年、ハーバード大学在学中にベルリン・フィル・オーケストラ・アカデミーに入学。その後わずか21歳で、ベルリン・フィル首席クラリネット奏者に就任。現在、世界で最も注目を集めるスター・クラリネット奏者として活躍をしている。また、スイスのビュルゲンシュトック音楽祭の芸術監督をピアニストのホセ・ガヤルドと共に務めている。

## リヒャルト・ガラー（ファゴット） ウィーン響首席
Richard Galler, fagotto

オーストリア生まれ。1987年9月より、ウィーン交響楽団の首席奏者を務めているほか、プラードのパブロ・カザルス音楽祭、札幌のパシフィック・ミュージック・フェスティバル（PMF）ほか、著名な室内楽音楽祭に定期的に出演。2010年よりウィーン室内合奏団のメンバー。ソリストとしても世界各地で活躍するかたわら、1997年から2004年にはザルツブルク音楽院教授、2004年3月からはウィーン国立音楽大学教授として後進の指導にもあたっている。

## シュテファン・ドール（ホルン） ベルリン・フィル首席
Stefan Dohr, horn

©Simon Pauly

ドイツ生まれ。1985年フランクフルト・オペラ管弦楽団の首席ホルン奏者に就任、2年後にはバイロイト音楽祭管弦楽団、その後ニース・フィルハーモニック管弦楽団、ベルリン放送交響楽団にて首席を歴任。ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団には1993年より首席ホルン奏者として就任。また、ソリストとして、さらにベルリン・フィル団員との数多くのアンサンブルのメンバーとして活動するほか、ハンス・アイスラー音楽大学およびカラヤン・アカデミーで指導も行っている。